

平成 27 年度  
読谷村教育委員会事務点検・評価報告書

平成 29 年 3 月  
読谷村教育委員会

## 1 趣旨

読谷村教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度読谷村教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、事務事業の点検及び評価を行い、読谷村教育委員会事務点検・評価報告書を作成しましたので提出します。

## 2 点検・評価の対象

点検及び評価の対象は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 2 条第 4 項に基づいて策定された読谷村第 4 次総合計画基本構想施策体系及び読谷村教育委員会主要施策体系に基づき、教育委員会の重点課題事項として抽出した主要な事務事業とする。

## 3 点検・評価の実施方法

- (1) 平成 27 年度教育委員会事務事業の取り組み状況について点検及び評価を行い、今後の取り組みの方向性を示す。
- (2) 自己評価は、各事務事業を妥当性、効率性、有効性、今後の展開の 4 項目に分けて、それぞれ 4 段階で評価し、その合計点数で上位から A、B、C、D で総合評価を行い、評価内容を記入し提出する。なお、評価基準は、別紙 1 のとおりです。
- (3) 各課での自己点検評価の後、学識経験者へ意見を求める。
- (4) 教育委員会としての点検・評価の総括を行い、議会へ提出するとともに村民へ公表する。

## 4 点検・評価の結果

点検・評価の結果は、別紙 2 のとおりです。

## 5 読谷村教育委員会の点検評価に対する学識経験者の意見

教育総務課、学校教育課事業に対する意見

比嘉 秀侑 氏

### 〈教育総務課 3 事業〉

1. 幼稚園園舎等維持補修事業：「人生に必要な知恵は、すべて幼稚園の砂場で学んだ」といわれるように幼稚園教育がその後の教育に及ぼす影響は極めて大きい。園児が安心・安全はもとより快く遊び学ぶ教育環境づくりのため、具体的に見通しを持ち、より良い策を練り、二園の空調設備補修・取替に向け設計事業が行われたことは評価できる。
2. 小学校要保護及び準要保護児童就学奨励補助事業：現行の法制度の枠組みで該当する児童の就学保障に有効に寄与している。昨今、子どもの貧困問題が大きな社会問題となっているが、今後、その対応も必要になってくるだろう
3. 中学校要保護及び準要保護生徒就学奨励補助事業：現行の法制度の枠組みで該当する生徒の就学保障に有効に寄与している。昨今、子どもの貧困問題が大きな社会問題となっているが、今後、その対応も必要になってくるだろう

### 〈学校教育課 12 事業〉

4. 中学生海外ホームステイ派遣事業：事前学習や事後報告も含め、事業が効率的に実施されている。また、生徒達の長期的異文化体験は本村の教育目標である「国際性豊かな人材育成」の具現化に寄与するものと考えられる。昨年指摘した二中学校の派遣人員の偏りについての早速の取組は村・教育委員会・学校の誠意として評価できる。
5. 学力向上対策事業：幼児児童生徒に「確かな学力」を確実に定着させ、「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域の教育力を引き出し、有機的に結びつける独自の取組が継続的に展開されている。それとともに、さらなる充実を目指し組織改編、教諭の先進校視察研修の実施等は全国学力検査において小学校はもとより中学校でも県平均を上まわるなど、着実に成果としてあらわれつつある。
6. 特別支援教育推進事業：特別支援教育推進専門員と村教育支援委員との連携した巡回相談、各幼・小・中学校に配置されたそれぞれ1～2名の特別支援教育支援員のスキルアップの為の研修、保護者や学級担任への各トレーニング等、各種継続した取組は本村の特別支援教育の確実な質的向上・充実に繋がっている。
7. 青少年センター事務運営事業：各学校や関係機関・団体との連携を密にすると共に保護者への支援を充実させた事や各学校へ派遣される心の教室相談員との教育相談、センターでの教育相談、学習面での支援等々が功を奏し、子どもや保護者の信頼を得る事に繋がり、その結果、多くの不登校児童生徒が学校復帰できた事は本当に素晴らしい。
8. 預かり保育事業：過去8ヶ年間、その都度、成果と課題を踏まえ改善を行い、さらなる機能化を図ってきた本村の預かり保育事業は、該当する保護者にその意義が浸透し理解が深まり充実・発展してきた。今年度から新制度のもと、多くの保護者のニーズに応えるべく従来の定員の撤廃・時間の延長等より細やかな取組をいち早く開始したことを大いに評価したい。

9. 小学校学習支援員配置事業：児童に、より細やかな個々の支援を行い、基礎的・基本的な学力向上を図るための学習支援員の各学校、特に系統性の強い算数の教育内容が一段と増える三学年への配置は、ギャングエイジといわれる彼らに行き届いた指導を可能にさせ、大いなる教育効果に繋がるものである。さらに、授業以外の補習時間等での効果的な活用は、積み残しの解消として児童に生かされている。
10. 中学校学習支援員配置事業：生徒に、より細やかな個々の支援を行い、基礎的・基本的な学力向上を図るための学習支援員の各学校、特に教科担任制等教育環境変化の著しい中学校一学年への配置は、補習時間の活用も含め、特に数学で困り感のある生徒の躓きを早く把握し、個に応じた指導が可能になることで、わかる喜びに繋がり、中学校生活のスタートをスムーズにさせ、その後の更なる発展が期待できる。
11. 小学校日本語教育支援員配置事業：日本の教育を希望する外国人が増える社会的情勢を真摯に受け止め、外国籍児童に日本語教育を展開する支援員の配置は、彼らの学校における居場所の確保やその保護者の学校に対する理解を深める大きな要素である。国際化が顕著になりつつある昨今、彼らとの交流は本村の子どもたちへの教育的刺激となり得る事を期待したい。
12. 小学校情報教育支援員配置事業：情報教育(パソコン教室)の授業支援や校内LANの整備等に関わるコンピュータに専門性のある支援員が各学校に定期的に配置されていることは、各学級担任に自信を与え積極的にICT機器を活用した「わかる授業」の展開やインターネットを活用した幅広い情報収集等の充実に繋がっている。継続して村内5小学校に二名の支援員の配置は、これまでの成果の更なる発展に繋がっている。
13. 中学校情報教育支援員配置事業：情報教育(パソコン教室)の授業支援や校内LANの整備等に関わるコンピュータに専門性のある支援員が各学校に定期的に配置されることは、多くの教科担任が自信を持ち積極的にICT機器を活用した「わかる授業」の展開やインターネットを活用した幅広い情報収集の充実、ネチケット等の整備が期待できる。  
継続して村内2中学校に一名の支援員の配置は、更なる発展に繋がっている。
14. 幼稚園支援員配置事業：園児をもつ就労している保護者にとって、早朝の受け入れが可能になったことは、勤務の都合上、早く登園させなければならない必要に迫られた時、本当にすばらしい制度として感ずるであろう。人気の少ない早朝の安全確保・保護者の安心と就労意欲の向上、職員のゆとりの確保等、今後の継続・発展を期待したい。
15. 校外活動支援バス貸出事業：教科等も含め、学校で学んだことを本物にするためにはそれらの知識を生かし、実際に体験し自分のものにするのが大事である。時宜を逃さず意図的・計画的な運営に向けた学校優先のバス貸出の制度は、子どもたちを大事にする本村の素晴らしいところであり、データに基づき、従来の取組に固執しない教育委員会の発想の転換を評価したい。

〈生涯学習課 7 事業〉

16. 子ども文化育成事業：地域理解を深めるためには、その地域の歴史や文化を学ばなければいけない。その意味においても伝統文化継承のための赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブの活動、村内小中学校のクラブ活動等への講師派遣など地域文化理解の機会として望ましい活動である。

また、子どもミュージカルは子どもたちの可能性を引出し練習から発表と完結型の子どもの自信や能力を引き出す素晴らしい事業である。高く評価し今後の継続発展を期待します。

17. 鳳ホール自主事業：地域文化創造と文化活動の継続発展は文化行政としての責務である。その為にも新しい文化活動の提供は村民に対し感動と共感および芸術文化に対する新たな視野を開くことにもつながり、既存の文化との融合や発展に大いに貢献するものである。

今後とも、各分野での多種多様な芸術文化公演等の事業を実施して頂きたい。

18. 家庭教育支援事業：6ヶ所における通称「わんぱく広場」は年を重ねるに従い充実発展の傾向が見えます。放課後の安心安全な子どもたちの居場所づくりは極めて大切な事業である。

特に各自治会の公民館において行われていることは、地域に住む子ども達が公民館活動を理解・親しむ事によって将来の地域活動参加への架け橋となる事でしょう。

今後とも開設所の増加と内容の充実を期待します。

19. 図書館運営事業：図書館事業は地域の多種多様なニーズに応えあらゆる情報を提供する使命を担っていると理解する。その為にも図書資料等の充実や施設の提供そして各種イベント・講座活動は高く評価する。今後とも、地域、学校との連携を強化しボランティアの募集活用等地域の情報センターとして各種事業の展開を期待します。

20. ふれあい交流館自主事業：ふれあい交流館はその名の通り各種生涯学習事業を通して村民のふれあいと交流の最たる場所であります。講座や教室から派生したサークル活動も活発であります。その各種事業に対し高く評価し今後とも継続発展を願います。常に生活課題や社会状況の課題に対し村民へのアドバイスの事業を展開して頂きたい。意見として、同じような生涯学習施設としての図書館や歴史民俗資料館等々の事業における連携を強化して頂きたい。

21. 後援団体育成事業：生涯スポーツの振興は、健康づくりとも連動した、地域活性化ともつながる。本村におけるスポーツ普及発展のためにも優秀選手、チームの助成・補助は大切である。将来のスポーツ選手の育成を目指し各種大会への派遣等今後も継続を願う。その為にも原資となる資金の増資が課題である。

22. 陶芸研修所運営事業：生涯学習としてのヤチムづくりは伝統工芸の体験を通し「物づくり」の大切さを理解し伝統工芸の継承発展にも寄与する。今後とも子どもからお年寄りまで楽しめる講座を期待したい。

〈文化振興課 8 事業〉

23. 歴史民俗教育普及事業：歴史民俗資料館は、読谷村における、歴史・民俗・文化等の館としまた、学習の場として大きな役割を担っている。各種企画展や講座及び資料等の発行はその目的のための事業であり、各字におけるガイドマップ等の発行は地域の歴史認識を高める資料としてその事業効果を高く評価する。
24. 美術展示事業：各種美術展やアンデパンダン展、児童生徒作品展、やちむん展等の開催は広く村民に対して美術作品の鑑賞と理解の場としてまた村民の芸術文化活動へ大きな効果をあげている。
25. 美術館教育普及事業：美術展示における館長及び作家による作品解説は児童生徒・一般村民に美術に対する理解と感動を与え今後の美術文化活動に大きな影響を与えている。
26. 返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業：埋蔵文化財は過去からのメッセージとしての重要な文化遺産である。その有無を調査し遺跡の発掘と、出土品の整理・研究は今後の歴史等の重要な資料となるものであり事業効果は高い。
27. 村史編集事務管理事業：村史の編纂は読谷の姿を映し出すものであり過去・現在・未来をつなぐ架け橋である、また村民の拠り所と成るものがあり、各方面でのデータの収集、整理・活用が必要であり高く評価できる。特に収集した資料をデータベース化し各字誌編集に活用されることを期待する。
28. 移民出稼ぎ調査編集事業：移民・出稼ぎ等の実態と歴史は、沖縄の苦難の歴史であり、各地域における歴史である。その知られざる部分等を含め実態を調査によって明らかにして頂きたい、資料の多国語での編集等事業効果が期待できる。
29. 沖縄語保存継承事業：民話は先人たちの生きた教訓であり願いである。民話絵本や紙芝居はしまくとぅばの普及と共に民話の理解を深める素晴らしい教材である。村内各保育園・幼稚園・小中学校での活用により、こころ優しい子どもの育成に期待したい。
30. 世界遺産座喜味城跡活用事業：座喜味城跡は世界遺産として高く評価され、訪れる観光客等も多く、あらゆる活用法についても検討されるべきでありライトアップ等の実施は有効である。

## 6 読谷村教育委員会の点検・評価の総括

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条」に基づき、各教育委員会は毎年、前年度の教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっている。そのことはもとより村民への説明責任を果たすことができるとともに、今後の本村教育行政の充実・発展に資することができる。

### (1) 点検・評価の対象

読谷村第 4 次総合計画基本構想施策体系において、平成 27 年度の読谷村教育委員会の事務事業の中で、今日の教育課題を解決していくために実施した主な施策・事業等を点検・評価の対象としている。

- ① 教育総務課関連・・・3 項目
- ② 学校教育課関連・・・12 項目
- ③ 生涯学習課関連・・・7 項目
- ④ 文化振興課関連・・・8 項目

### (2) 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、本村の教育的現状や背景等を踏まえ、施策・事業等の実績を明らかにし、各施策・事業ごとに自己評価を行った。具体的には、教育委員会（教育委員長及び教育委員）が教育委員会 4 課（教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課）で作成した評価資料をもとに、概要説明や状況報告、質疑応答等、教育委員会 4 課へのヒアリングを通して、慎重且つ総合的に点検・評価を行った。また、法に基づき、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から様々なご意見やご助言を頂くとともに、これらを参考にしながら、各項目ごとに今後の展開の方向性を示している。

### (3) 教育に関する事務の管理及び執行の状況について

#### ① ちむ清らさの人づくり（27 事業）

##### ○ 共に学び、共に育つ場づくり（13 事業）

ア	幼稚園園舎等維持補修事業	教育総務課 安心、安全で快適な教育環境の確保は教育委員会に課せられた責務である。老朽化した空調設備を更新するために実施した読谷幼稚園及び渡慶次幼稚園の防音機器復旧実施設計業務は、本村の将来を担う子どもたちの充実した教育環境確保に大きく貢献するものである。次年度以降のスムーズな復旧工事の実施についても期待するものである。また、防衛省の防音事業補助金を活用することで、村財政への負担軽減に貢献していることも評価に値するものである。
イ	学力向上対策事業	学校教育課 幼児・児童・生徒の学力向上は、村民全体の願いであり、教育委員会の最重要課題のひとつである。平成 27 年度より学力向上推進協議会の組織を学校・家庭・地域の 3 部会とし、それぞれの役割を理解しながら取り組みを展開することは効果的である。 特に、学力向上の中心にある学校現場では、村の共通実践項目を基軸に、分かる授業の工夫など授業改善に取り組み、その成果を教育委員、保護者、地域へ報告会を行っていることで、村全体の学力向上の意識高揚に繋がっていると思われる。

	平成 25 年度からスタートした「教育の日」は、徐々に村民の皆様方にその趣旨が浸透しつつあり、村民総ぐるみによる学力向上推進体制と連動したこの事業企画の充実を図りたい。	
ウ	特別支援教育推進事業	学校教育課
	本村の特別支援教育推進事業は、特別支援教育推進専門員（2名）、特別支援教育支援員（幼稚園各園1名、小中学校各校2名、計19名）を配置し、支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し個に応じたきめ細やかな支援が行われていると評価できる。また、児童や保護者を対象としたトレーニングの実施や、支援員の専門性の向上を図るための諸研修を開催していることにより、対象の子ども達への適正な支援が確保されている。今後も、本事業の趣旨をふまえ、取り組みの充実を図ってもらいたい。	
エ	青少年センター事務運営事業	学校教育課
	青少年センター事務運営事業は、児童生徒の心の健康問題の早期発見、早期対応に取り組んでいる。各学校での相談活動や来所相談、通所指導が充実した結果、不登校や登校しぶりの改善事例も見られ、本事業の意義は大きいと言える。更なる充実に向けて、青少年センターの相談員、臨床心理士、心の教室相談員と学校やこども未来課、福祉課など関係団体との連携も図りながら、より充実した事業運営を期待する。	
オ	預かり保育事業	学校教育課
	一時預かり保育事業の趣旨は、保護者の子育て支援に寄与している。特に平成 27 年度からスタートした子ども・子育て支援新制度に伴い、各幼稚園では早朝 7 時 30 分からの受け入れや、教育課程終了後、最大午後 7 時までの預かり保育を実施しており利用保護者のニーズに対応していると評価する。	
カ	小・中学校学習支援員配置事業 小学校日本語教育支援員配置事業 小・中学校情報教育支援員配置事業	学校教育課 学校教育課 学校教育課
	<p>学校への支援員配置事業は、学校や児童生徒、保護者のニーズに応え、教育活動を支援するために実施されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の確かな学力の育成のため、学習支援員配置事業が行なわれている。5 小学校（3 学年）、2 中学校（1 学年）に学習支援員 1 名を配置し、系統性の高い算数・数学の授業において、児童生徒個々の学力差に対応したきめ細やかな学習支援が行なわれている。このことは、着実な学力定着に繋がっていると評価する。今後も、優れた人材の確保に努めてもらいたい。</li> <li>・小学校日本語教育支援員配置事業は、外国籍児童の学力定着と学校への適応を目指して実施されている。村内 3 小学校に配置された支援員が授業時の児童への日本語指導はもとより学校生活の支援も行なっている。このことは、学校教育の円滑な実践に寄与していることから、教育的効果は大きいものとする。</li> <li>・小・中学校において、情報教育支援員配置事業が展開されている。情報教育支援員の配置により、教職員対象の ICT 活用スキルの研修の充実や ICT 機器を活用した分かる授業の支援など、授業改善等に資する効果は大である。平成 27 年度は小学校へのデジタル教科書の配置を行い、授業の効率化が図られた。中学校へも電子黒板の導入を推進してもらいたい。</li> </ul>	
キ	幼稚園教育支援員配置事業	学校教育課
	幼稚園教育支援員配置事業は、日常保育の中できめ細やかな教育支援(補助)を行う事を目的とし、幼稚園教育支援員を 1 名各園に配置するもので、新制度のもと、早朝 7 時半か	



	ら登園する園児への対応や学級担任が研修等へ参加する際の学級担任対応として実施されている。幼稚園教育支援員の配置により多くの職員で園児に接することができ、きめ細やかな対応が可能となり、園児の情緒面、教育面での成長が見られたことは望ましいことである。また教諭が研修等に参加しやすい環境をつくることで、職員の資質の向上にも資すると思われる。	
ク	校外活動支援バス貸出事業	学校教育課
	校外活動支援バス貸出事業は村内小中学校校外活動の移動手段として安全で円滑な移動を実現し、学校教育活動の充実を図る事を目的として実施されている。平成27年度の利用回数はのべ158回の利用があり、当初の目標を超える利用回数となったことから今後の教育活動の充実に資するものと評価できる。	
ケ	家庭教育支援事業	生涯学習課
	子育て支援の一環として、家庭教育支援事業を実施している。6箇所の自治公民館等を活動拠点にし（「通称：わんぱく広場」）、異年齢交流による学習やスポーツ・文化活動の実施等、自由に過ごせる居場所づくりの提供は、地域と連携した青少年の健全育成や子育て支援に大きく寄与していることは評価に値する。放課後、子どもたちが安心安全に過ごすことのできる地域に開かれた居場所づくりは、地域に住む子ども達が公民館活動等を理解・親しむ事によって将来の地域活動参加への架け橋となる事が期待される。今後とも開設所の増加と内容の充実を期待する。	

○ 地域・文化の創造発展（11事業）

ア	中学生海外ホームステイ派遣事業	学校教育課
	中学生の海外ホームステイ派遣事業は、米国ワシントン州シアトル近郊での生活体験を通して、国際語である英語学習への関心、意欲の高揚はもとより、異文化理解を深めることや海外への視野の広がりが期待できる。帰国後に開催した報告会やその後の学校生活の状況からして、その目的は達成されていると考える。 読谷村の未来を担う「創造性、国際性に富み社会に貢献する人材」・青少年の育成の視点からも、本事業の継承につとめてほしい。	
イ	子ども文化育成事業	生涯学習課
	子ども文化育成事業は、地域の歴史・文化の継承を視野に、三線や箏、太鼓などの伝統文化継承のための赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブや創作子どもミュージカルを実施した。その成果発表の一環として設定した「子ども芸能祭や読谷まつり、ミュージカル」への参加を通して、心身の成長に繋がった。本事業は、地域人材のご協力のおかげで成り立つ創造的事業でもあり、子ども達の自信や能力を引き出す素晴らしい事業であり、高く評価し今後の継続発展を期待する。	
ウ	鳳ホール自主事業	生涯学習課
	鳳ホール自主事業は、村民の文化活動の拠点として、舞台芸術に対する興味関心を喚起し、文化事業の振興及び文化活動の充実に寄与している。地域伝統芸能の継承発展・保存を図りながら、村民に対し感動と共感および芸術文化に対する新たな視野を開くことにもつながり、既存の文化との融合や発展に大いに貢献するものである。今後も、各分野での多種多様な芸術文化公演等の事業を実施して頂きたい。	

エ	歴史民俗教育普及事業	文化振興課
	歴史民俗教育普及事業において、常設展や企画展の開催、歴史民俗ガイドマップの作成（4字）など地域に根ざした催しを実施している。これらの事業は、村民の民俗・郷土理解を深め評価に値する。また、人材育成や観光資源としての活用も期待できる。	
オ	美術展示事業 美術館教育普及事業	文化振興課 文化振興課
	美術展示事業においては、県内外から8,458名の観覧があった。また、児童生徒や村民に発表する場の設定や芸術交流の場が提供できたこと、学校や民間での開催が困難な展示会の開催、美術館教育普及事業においては、美術展示事業と並行して行った作品解説会やガラス工芸体験教室を通して、美術に関心を深める良い機会にもなっていることは評価に値する。学校、村民、そして、美術関係者との連携を密に行い、事業規模の拡大を模索して頂きたい。	
カ	返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業	文化振興課
	村民の財産である埋蔵文化財の保護計画は、行政の地域づくりを視野に、返還軍用地の跡地利用、地域開発と文化財の保存が支障なく執行されることに意を注いだことは評価に値する。地域の学習材として活用できることは今後とも期待感が大きい。	
キ	村史編集事務管理事業	文化振興課
	<p>「温故知新」、歴史的事象の確認、検証することは、未来の豊かな読谷村の創造への道標となる。特に、沖縄県教職員組合から寄贈された沖縄戦後教育史・復帰関連資料のデータベース化は読谷村のみならず沖縄県の豊かな未来創造に有益で評価に値する。読谷の「民俗芸能編」の執筆準備、「言語地名編」「移民出稼ぎ編」も同様である。その結果を、村民をはじめ広く地域社会に還元すべく、情報公開を積極的に行うことが肝要である。</p> <p>近い将来の「総合情報センター」の開館とその充実・発展に向けても本事業企画は有意義である。</p>	
ク	移民出稼ぎ調査編集事業 沖縄語保存継承事業	文化振興課 文化振興課
	移民出稼ぎ調査編集事業は、読谷村出身の移民二世、三世のアイデンティティの再確認に資するとともに、国際交流や読谷村及び沖縄観光の促進に大きく寄与するものと確信する。関連事項の調査、整理と収集した資料の共有、発信、活用に地道に確実に取り組み、事業の充実を図ったことは評価に値する。沖縄語保存継承事業のねらいは、未来の豊かな読谷村を担う青少年に、郷土文化の継承・発展の基盤である沖縄語「しまくとぅば」を伝承、習得、保存することである。このことは国際社会に雄飛し、国内外で活躍する人材の育成にもつながることから評価に値する。その趣旨達成のためにも、教材（民話絵本等）の有効活用に向けて、関係教育団体との連携した取り組みを充実させて頂きたい。	
ケ	世界遺産座喜味城跡活用事業	文化振興課
	世界遺産座喜味城跡は本村の宝であり誇り得るものである。その保存と有効活用を図ることは現在に生きる者にとっては責務である。座喜味城跡の城壁のライトアップは、村民のみならず読谷村を訪れる多くの観光客にも喜ばれていることは評価に値する。座喜味城跡を世界に誇る観光資源として有効活用を図る上でも本事業の意義は大きい。	

○ 夢広がる学びの場づくり（2事業）

ア	図書館運営事業	生涯学習課 村立図書館は、乳幼児から高齢者まで、村民すべての自己教育に資するとともに、村民が情報を入手し、芸術や文学を鑑賞し、地域文化の創造にかかわる場であり続けることが期待されている。図書資料等の充実や施設の提供そして各種イベント・講座活動は高く評価する。今後とも、地域、学校との連携を強化しボランティアの募集活用等地域の情報センターとして各種事業の展開を期待する。
イ	ふれあい交流館自主事業	生涯学習課 ふれあい交流館自主事業は、様々な講座や教室の開設と実践を通して、村民相互の交流・学習の場を提供してきた。そのことは、村民の生涯学習の推進・充実に大きく寄与している。常に生活課題や社会状況の課題に対し村民へのアドバイスの事業を展開して頂きたい。意見として同じような生涯学習施設としての図書館や歴史民俗資料館等々の事業における連携を強化して頂きたい。

○ 心と体の健康づくり（1事業）

ア	後援団体育成事業	生涯学習課 生涯スポーツの振興は、健康づくりとも連動し、また地域活性化ともつながる。本村におけるスポーツ普及発展のためにも優秀選手、チームへの助成・補助の意義は大きいと言える。将来のスポーツ選手の育成を目指し各種大会への派遣等今後も継続を願う。そのためにも、原資となる資金の増資が課題である。
---	----------	---

② 生き活きがんじゅう・ゆいまーる（2事業）

○ 子どもたちの笑顔あふれる村づくり

ア	小・中学校要保護及び準要保護児童生徒就学奨励補助事業	教育総務課 昨今の厳しい経済情勢の中で教育の機会均等を推進する観点から、経済的理由により就学困難な状況にある児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、修学旅行費、給食費等の補助を行うことは、義務教育の円滑な推進と児童生徒の就学を保障する最も重要な政策・事業である。本事業を適正に遂行するに当たっては、妥当な審査基準を設けるなど、適正な運営が行われているが、今後も要保護・準要保護対象の児童生徒に、適正な就学奨励補助事業の継続と充実を図ることが求められる。
---	----------------------------	--

③ 手づくり工芸の振興と発展（1事業）

○ 炎によるものづくり振興

ア	陶芸研修所運営事業	生涯学習課 「やちむんの里：読谷」の地域に根ざした生涯学習施設である陶芸研修所において、生涯学習としてのヤチムンは伝統工芸の体験を通し「物づくり」の大切さを理解することができる。今後とも、子どもからお年寄りまで、楽しめる講座の実施に期待したい。
---	-----------	---

別紙 1

○妥当性・効率性・有効性・今後の展開の点検評価基準

点数	妥当性	効率性	有効性	今後の展開
4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	投入コストに比べ活動量が非常に高い	成果が非常に高い	事業規模の拡大が望まれる事業
3	教育委員会が関与する妥当性が高い	投入コストに比べ活動量が高い	成果が高い	事業規模の維持が望まれる事業
2	教育委員会が関与する妥当性が低い	投入コストに比べ活動量が低い	成果が低い	事業規模の縮小が望まれる事業
1	教育委員会が関与する妥当性が非常に低い	投入コストに比べ活動量が非常に低い	成果が非常に低い	廃止または休止が望まれる

○総合評価基準

妥当性・効率性・有効性・今後の展開の合計点数で評価します。

評価	妥当性・効率性・有効性・今後の展開の合計点数の範囲
A	14点～16点
B	11点～13点
C	8点～10点
D	4点～7点

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果				
1	ちむ清らさの 人づくり  共に学び、 共に育つ場 づくり	幼稚園舎等 維持補修事業	読谷幼稚園及び古堅南幼稚園の老朽化した空調設備を取替えるため、防音機器復旧美施設業務を行う。	老朽化した空調設備を取り替えることで、園児が安全で安心な環境で生活をおくることができる。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	学校教育法第5条で「学校の設置者は、その設置する学校を管理し、その学校の経費を負担する。」とある。	16
		132071			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	今年度設計を行ったことで、即座に次年度以降の復旧工事に移行できる。	
		教育総務課			有効性	成果が非常に高い	防音事業補助金を活用することで、村経費の負担を軽減できた。	A
		施設係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	設備の耐用年数を参考に今後の更新計画を策定し、適正な維持管理に努めた。	
2	生き活きが んじゅう・ゆ いまーる	小学校要保護及び 重要保護児童生徒 就学奨励補助事業	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難と認められる小学生の保護者に対して市町村が必要となる援助を行うものである。就学援助には、新入学用品費、修学旅行費、給食費等がある。要保護児童への扶助は、修学旅行費があり6年生のみが対象である。	昨今の厳しい社会情勢の中で、経済的理由により就学困難な者に新入学用品費、給食費等を援助することで、教育の機会均等、義務教育の円滑な実施を図り、児童の就学を保障する。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	学校教育法第19条に「経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に市町村は必要な援助を与えなければならない」とある。	16
		142013			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	就学困難な児童が円滑に教育を受けられることは、効果が非常に高いと判断する。	
		教育総務課			有効性	成果が非常に高い	経済的理由により就学困難となつている児童の保護者に対して、給食費等の直接的な援助は経済的負担を軽減させるため成果が高い。	A
		教育総務係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	子どもの貧困対策の一環として国・県も力を入れており、他市町村の動向も参考にしながら制度の充実を図っていく。	
3	生き活きが んじゅう・ゆ いまーる	中学校要保護及び 重要保護児童生徒 就学奨励補助事業	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難と認められる中学生の保護者に対して市町村が必要となる援助を行うものである。就学援助には、新入学用品費、修学旅行費、給食費等がある。要保護児童への扶助は、修学旅行費があり2年生のみが対象である。	昨今の厳しい経済状況の中で、経済的理由により就学困難な者に新入学用品費、給食費等を援助することで、教育の機会均等、義務教育の円滑な実施を図り、児童の就学を保障する。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	学校教育法第19条に「経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に市町村は必要な援助を与えなければならない」とある。	16
		142015			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	就学困難な生徒が円滑に教育を受けられることは、効果が非常に高いと判断する。	
		教育総務課			有効性	成果が非常に高い	経済的理由により就学困難となつている生徒の保護者に対して、給食費等の直接的な援助は経済的負担を軽減させるため成果が高い。	A
		教育総務係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	子どもの貧困対策の一環として国・県も力を入れており、他市町村の動向も参考にしながら制度の充実を図っていく。	
4	ちむ清らさの 人づくり  地域文化の 創造発展	中学生海外ホーム スタ/派遣事業	中学生を海外に短期留学させること で、英語を学ぶ事への関心・意欲を高め、異文化を体験する事で海外へ視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。 【米国ワシントン州シアトル近郊へ派遣】	多感な中学生の時期に、海外で約3週間のホームステイをとおし、建築物・自然・生活環境など異文化に触れる事により、創造性に富み国際性豊かな思考を身につける事ができ、将来社会に貢献できる人材育成に努める事ができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	教育主要施策「創造性・国際性に富み社会に貢献する人材の育成」への対応。国内外で活躍できる人材の育成等、その意義は大きい。	16
		131016			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	経費の半額(30万円)を補助することで、保護者の負担軽減につながるが、積極的な応募が見られる。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	約3週間、異国で生活体験を送ることは将来の人格形成に大きく寄与する。	A
		学校教育係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	国際化社会の中で、外国語の習得が必要であると認識されてきており、今後も希望者が増える見込まれる。	

平成27年度 読谷村教育員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果		妥当性	総合得点	
5	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	学向上対象事業	児童生徒の確かな学力の向上や生き生きとした学び、学校・家庭・地域が一体となり、教育委員会を中心に各学校単位で特色ある活動を展開している。	本村の児童生徒の文化面、スポーツ面等での活躍が多くみられた。特に中学校においては、全国学力テストにおいて、県平均を上回った。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	16	
		132006	各幼稚園、小学校、中学校においては、新共通実践項目を確実に取り組むことや、幼小中相互交流授業の内容見直しを行った。	学校教育部では、先進校視察研修に参画し、小学校教諭5名を福井県に派遣して、教育システマや授業実践等の研修を行った。	効率性	各園・各学校の取組状況を把握する事により、必要な指導・支援を行い、学向上に効果的に取り組んでいる。	16	
		学校教育課	学向上推進協議会の組織改編を行っている。学校教育部会、家庭教育部会、地域教育部会の3部会編成とした。	家庭教育部会、地域教育部会において「早寝・早起き・朝ごはん」「あいさつ運動」「家庭学習の取組」等、学校と連携した取組を実施した。	有効性	「確かな学力」の向上を育むために、村全体での継続的な取組は欠かすことができないものであり、学校・家庭・地域の意識向上にもつながっている。	A	
		学校教育係	幼稚園・小中学校に在籍し、心身に障害を持つ幼児児童生徒の個々に応じた適切な支援を行っている。	特別支援教育推進専門員2名を配置し、特別支援教育の取組を推進している。	今後の展開	これまでの学向上推進施策の改善を図るとともに、学校・家庭・地域社会の更なる連携・協力のもとに児童生徒の学力の向上に努める。	16	
6	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	特別支援教育推進事業	特別支援教育推進専門員2名を配置し、特別支援教育の取組を推進している。	特別支援教育推進事業を進めていく中で、子どもたちへの理解は深まりつつあり、対象児の保護者が抱える困り感もペアレントトレーニングをとおして、少しずつ解消しつつあると思われる。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	16	
		132007	特別支援コーディネーター及び特別支援教育支援員の合同定例会、ティーチャーズトレーニング等研修会の開催。	支援に必要な具体的なスキルを持ち併せる特別支援教育推進専門員を2名配置し、対象児への手厚い支援が可能となった。	効率性	学校長を中心に各学校の特別支援コーディネーターや特別支援教育支援員等による個別の支援や関係機関との連携、定期的な研修会の実施による資質向上が図られている。	A	
		学校教育課	保護者や幼児児童を対象としたチャレンジクラブ、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニングを開催。	村教育支援委員と連携した巡回相談や対象児への心理検査・言語検査等の検査を実施し、実態把握ができた。	有効性	困り感のある児童生徒への適切な支援と指導により、より良い学校生活及び地域生活を送ることができ、ライフステージに沿った支援が確保されている。	16	
		学校教育係	学校の教育相談、生徒指導の担当と密に連携を図り、対象児童生徒・保護者への教育相談、支援を行った。	各校の特別支援教育支援員の研修を行い、児童生徒理解の向上が図れた。	今後の展開	年々増加する困り感を持った幼児児童生徒支援を行うために、特別教育支援員の人材の適正な確保等により、課題に対応できる。	A	
7	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	青少年センター事業	心の教室相談の実施。	各学校において、心の教室相談員による相談業務を実施し、児童生徒、保護者、教師の困り感へ対応できた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	16	
		132028	心の教室相談の実施。	青少年センターへ通所促進を通じ、教育相談や学習面での支援を行い、学力の遅れに対応する事ができた。	効率性	青少年センター相談員の学校現場やこども未来課との連携や当センターにおける直接の相談件数は増加している。	16	
		学校教育課	通所による相談、指導(学習指導等)の実施。	また、学校や保護者との連携をとり、4名の児童生徒を学校復帰させることができた。	有効性	学校訪問や心の教室等を通しての相談や、対象児童生徒の学校復帰を促進する取り組み、進学へ向けた取り組み等、多くの児童生徒への支援が行われている。	A	
		学校教育係	通所による相談、指導(学習指導等)の実施。	各園・各学校の取組状況を把握する事により、必要な指導・支援を行い、学向上に効果的に取り組んでいる。	今後の展開	臨床心理士の配置により、より細やかな相談・支援ができた。相談員の増員により、更に細やかな学校、児童生徒支援が行える。	16	
8	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	預かり保育事業	子ども子育て新制度の実施に伴い、幼稚園の教育課程終了後、保護者が希望する幼児に対し、村内5幼稚園に一時預かり保育を実施。	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	16	
		132030	これまでの各園30名定員を撤廃し、預かり時間を最長7時まで延長。月契約と、1日ごとに利用できる臨時一時預かりを導入し、保護者のニーズに合った事業とするよう改正した。	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	効率性	希望者の全員を受け入れることで、子育て支援や保護者のゆとり確保等、その成果は大きい。	16	
		学校教育課	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	有効性	希望者を全員受け入れるため、前年以上の申し込みがある。	A	
		学校教育係	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	子ども・子育て支援制度の開始に伴い、定員撤廃、保育料の応能負担化方法の多様化、保育士の応能負担と、事業内容を大きく改訂し、より利用しやすい事業とする事により、子育て支援や保護者の就労支援に貢献することができた。	今後の展開	保護者の就労に資するため、今後も希望者が増加する見通しである。	A	

平成27年度 読谷村教育委員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果				
9	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	小学校学習支援員 配置事業	小学生の基礎・基本の定着、学力の向上のため、小学生(3年生)を対象に学習支援員を配置し、個々の児童生徒へのきめ細やかな学習支援を行う。	村内の5小学校へ1名ずつ学習支援員を配置する事により、児童生徒の学力向上に寄与した。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	児童生徒の確かな学力向上のため、教育委員会が主体となって取り組む必要がある。	16 総合得点
		132057		学習支援員の配置により個々の支援(特に算数)を行う事により、基礎学力の向上に努める事ができた。	効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	朝自习 授業 放課後や夏休みの補習指導等、継続的な効果が期待できる。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	継続実施していく事で、村全体の児童の学力向上が期待できる。	A 評価
		学校教育係		担当教諭との連携を密に授業内容に沿ったより細やかな支援を行う事で、更なる学力向上が見込まれる。	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業		
10	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	中学校学習支援員 配置事業	中学校の基礎・基本の定着、学力向上のため、中学校1年生を対象として学習支援員を配置し、児童生徒個々へのきめ細やかな学習支援を行う。	村立中学校2校へ1名ずつ学習支援員を配置する事により、児童生徒の学力の向上に寄与した。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	児童生徒の確かな学力の向上のため、教育委員会が主体となって取り組む意義は大きい。	16 総合得点
		132058		授業(特に数学)の場で困り感のある生徒に対し、個別に指導する事ができている。	効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	生徒がどの過程で躓いているのかを確認し、適切な支援を行う事は事業効果は多大であり継続実施していくことで、更なる効果が期待できる。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	中学1年生の学習支援を継続して実施していくことで、村全体の中学生の学力の向上が期待できる。	A 評価
		学校教育係		授業のサポート、補習授業を継続することで基礎力の定着を図れる。	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業		
11	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	小学校日本語教育 支援員配置事業	村内小学校に在籍する外国籍等の児童に対する日本語教育支援を行う。	村内小学校に在籍する外国籍等の児童に対する授業支援、その保護者への通訳を行うことにより相互の連携が図られ、児童がよりよい学校生活を送れるようになった。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	本村に在籍する外国人や海外生活が長く、日本語が話せない児童・保護者の支援のため、また、国際性豊かな人材を育成するために教育委員会が取り組む意義は大きい。	16 総合得点
		132059			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	年々増えつつある、外国籍等児童への日本語教育支援を行う事は学力向上にも資する。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	外国籍等の児童及び保護者の支援のため、また、外国籍の児童が在籍することで、本村の児童へ与える教育的影響は大きい。	A 評価
		学校教育係		情報教育支援員を配置し、ICT機器を使った授業の補佐や、情報機器を活用する教員のサポートを実施。村内小学校を週替わりで巡回し授業の支援を行う。	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	外国籍等の児童を受け入れられている現状があり、学校経営の安定や学力向上の面からも支援の継続が必要であり、安定した人材確保を行う必要がある。	
12	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	小学校情報教育支 援員配置事業	情報教育支援員を配置し、ICT機器を使った授業の補佐や、情報機器を活用する教員のサポートを実施。村内小学校を週替わりで巡回し授業の支援を行う。	情報教育支援(パソコン教室)の支援のみならず、授業の準備、学校現場におけるICT機器活用の充実を図ることができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	読谷村教育主要施策項目「情報教育の充実」への対応。多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進への意義は大きい。	16 総合得点
		132061		5小学校に対し、2名の支援員を配置。	効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	村立小学校の各教室へ配置した電子黒板等のICT機器やデジタル教科書を活用した授業支援を行う。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	ICT機器を活用し、児童生徒の学習に対する興味・関心・理解を高め、「わかる授業」の展開に向けた指導方法の工夫・改善に資する。	A 評価
		学校教育係		事業規模の拡大が望まれる事業	今後の展開	文科省が進める教育の情報化における授業の効率化の観点で、ICT機器の活用は重要な部分で、情報支援員の配置は今後も必要である。		

平成27年度 読谷村教育委員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果		4	5	
13	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	中学校情報教育支援員配置事業	情報教育支援員を配置し、ICT機器を使った授業の補佐や、情報機器を活用する教員のサポートを実施。村内中学校を週替わりで巡回し支援を行う。	情報教育授業(パソコン教室)の支援のみならず、授業の準備に対応し、学校現場におけるICT機器活用 の充実を図ることができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	読谷村教育主要施策項目「情報教育の充実」への対応、多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進への意義は大きい。	16 総合得点
		132062			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	ICT機器を活用する教員のサポートを行うことにより、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。	
		学校教育課	2中学校に対し、1名の支援員を配置。		有効性	成果が非常に高い	ICT機器を活用し、児童生徒の学習に対する興味・関心・理解を高め、「わかる授業」の展開に向けた指導方法の工夫・改善に資する。	
		学校教育係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	文科省の進める教育の情報化における授業の効率化及び、今後中学に導入する電子黒板、デジタル教科書の活用にも情報支援員の配置による効果が期待できる。	
14	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	幼稚園教育支援員配置事業	平成27年度、子ども子育て新制度に伴う新規事業である。幼稚園教育支援員を各園に1名配置し、早朝から登園する園児への対応や、日常保育の中できめ細やかな教育支援(補助)を行う。	支援員の配置により、午前7時30分よりの早朝受け入れが可能になった。また、多くの職員で園児に接すること、きめ細やかな対応が可能となり、午前中の教育活動も充実した。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	幼稚園職員の研修参加による資質向上や園児へのきめ細やかな対応に資するため教育委員会が実施することが必要である。	16 総合得点
		132064			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	早朝から昼までの5時間、支援員を配置することで、早朝受け入れと職員のゆとり確保、園児へのきめ細やかな対応が効率的に実現できた。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	早朝から登園する園児の対応等、保護者の就労支援にも貢献することができ、その効果は非常に有効である。	
		学校教育係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	今後も継続していくことで、職員のゆとり確保、保護者ニーズの対応に努めていく。	
15	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり	校外活動支援バス貸出事業	平成27年度からの新規事業である。村内小中学校校外活動の移動手段として安全で円滑な移動を実現し、学校教育活動の充実を図る。	年間でも158回の利用があり、当初の予想よりも活用された。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	村の管理するマイクロバスのうち、かなりの部分を教育委員会が使用しており、学校が優先的に利用できるバスを導入したことによって円滑な利用ができた。	16 総合得点
		132070			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	バスの利用にあたっては運転手を保護者とする等の工夫から、使用実績に比して賃金等は抑制できている。	
		学校教育課			有効性	成果が非常に高い	年間で160回の使用実績があり、学校及び保護者からも導入以前と比較して校外活動が実施できたとの回答が寄せられている。	
		学校教育係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	学校における校外活動の移動手段として活用されてきた実績と今年度の結果から、教育活動に大きな役割を果たすと考えられる。	
16	ちむ清らさの 人づくり 共に学び、 共に育つ場 づくり 地域文化の 創造発展	子ども文化育成事業	子ども達に地域の歴史・伝統文化の継承を図り文化の礎を築くため、赤犬子ども三線・箏・太鼓クラブを開催し指導を行った。また、村内小・中学校のクラブ活動等へ三線・琉球舞踊・箏・茶道の講師を派遣した。	赤犬子ども三線・箏・太鼓クラブは総勢185名、小中学校クラブ活動への講師派遣事業では109名の児童生徒が伝統芸能へ触れ、子ども達は読谷まつりや子ども芸能祭に出演し堂々と発表することができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	子ども達が郷土の文化や伝統芸能に親しむ機会をつくることで健全育成に必要である。	16 総合得点
		131002			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	通年における指導で子ども達の学習推進が図られた。	
		生涯学習課	8月には出演者50名による読谷村創作子どもニュージカル(クレーンザマー)の時少年は・・・)を開催した。	創作子どもニュージカルにむけて昨年のワークショップから引き続き、個々の取り組みを通して、子ども達の想像力や積極性を育て大きく伸ばすことができた。	有効性	成果が非常に高い	読谷まつり、子ども芸能祭等地域活動に貢献でき	
		文化センター係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	子ども達が郷土の文化および伝統芸能を継承していくためには、引き続き全面的に支援が必要。	



平成27年度 読谷村教育委員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果		妥当性	効率性	
17	ちむ清らさの 人づくり  地域文化の 創造発展	風ホール自主事業	くらの杜100年プロジェクトIN読谷2015では、村内外はもとより県外からも賛同者があり、育樹祭には総参加数180名、音楽祭には出演者350名、観客数延べ800名が参加し開催した。宝くじ文化公演においては、南阿佐ヶ谷の母を上演し、439名の入場者であった。	参加や鑑賞することで、多くの村民が感動・連帯し、参加者や地域・出演者がつながりを確認し、感動を分かち合えることができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	村民に、多種多様な芸術を鑑賞又は、出演する機会を持つことは文化村づくりにとって必要である。	16 総合得点
		131005			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	舞台芸術に対する興味・関心を喚起し文化事業の展開が図られた。	
		生涯学習課			有効性	成果が非常に高い	多岐にわたる事業を展開することで村民に芸術の提供が図られた。	A 評価
		文化センター係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	地域伝統芸能の継承・発展・保存を図りながら、収益性の高い事業展開も必要。	
18	ちむ清らさの 人づくり  共に学び、 共に育つ場 づくり	家庭教育支援事業	週に1回～5回、学校以外の放課後の活動拠点として、村内の公民館を活用して、自由で安心安全な居場所づくりを提供する通称名わんぱく広場事業。	放課後の安心安全で、自由に過ごせる居場所づくりを実現。平成27年度より横田が増え、瀬名波、波平、喜名、大添、大木の6カ所の自治公民館等にて開催。(延べ参加人数6,456名) ・瀬名波わんぱく広場 971名 ・波平わんぱく広場 577名 ・喜名わんぱく広場 932名 ・大添わんぱく広場 3,100名 ・大木わんぱく広場 515名 ・横田わんぱく広場 361名	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	放課後の安心安全な居場所づくりが実現されている	16 総合得点
		132029			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	地域の特色ある居場所づくりが図られている	
		生涯学習課			有効性	成果が非常に高い	異年齢交流、地域の人材による地域の子どもの居場所づくりが実現されている	A 評価
		生涯学習係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	継続した実施が必要	
19	ちむ清らさの 人づくり  夢広がる学 びの場づく り	図書館運営事業	村民が「自ら学び・知る」機会に寄与する場として図書資料と施設の提供。村内小学生の図書見学、中学生の職場体験、高校生とのインテンシブの受入及び学校図書館との連携を図り、子ども読書活動の推進に寄与。通常の図書館サービス(貸出、資料検索・レファレンス等)を行い、定例行事として、おはなし会・ビデオ上映会・おりがみ教室及び各種講座を実施した。ブックスタート事業を始めインターネットを活用しての蔵書公開と同時に読書点検の効率化を図り、利用者サービスに努めた。平成25年度より引き続き、沖繩県教職員組合からの寄贈図書登録作業を行い郷土資料の充実を努めた。	生涯学習施設として村民の多様なニーズに応えらるとともに「地域の情報センター」の役割を担い、登録者数21,041名、新規登録者数805名、貸出冊数126,146冊と、多くの村民に活用されている。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	図書館法に基づき、生涯学習の主要拠点施設として村民ニーズが高い。	16 総合得点
		133007			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	読谷村の人口規模から、費用対効果を考えると投入コストは低いが、幅広い年齢層に活用されている。	
		生涯学習課			有効性	成果が非常に高い	生涯学習の推進という観点から他で代替できない事業であり、情報化社会・多様化する村民ニーズに対し、よりよい図書館サービスを行うために様々な環境整備が求められている。	A 評価
		図書館係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	平成12年の開館時の蔵書数3万冊余から現在10万冊を超え、利用者数も年々増加の一途をたどっており、よりよい図書館サービスを行うために様々な環境整備が求められている。	
20	ちむ清らさの 人づくり  夢広がる学 びの場づく り	ふれあい交流館自主事業	ふれあい交流館は、地域住民の身近な交流の場、学習の場として、生涯学習の推進に大きな役割を果たしている。多くの村民に対し、色々な種類の講座や教室を開設することで、サークルの育成や各自治公民館及び社会教育団体とのネットワークづくりを通して、地域の生涯学習の展開を図った。	村民の身近な交流の場、学習の場、憩いの場として、生涯学習の推進に大きく寄与した。 美と健康講座、ガーデニング講座など11講座、高齢者学級、自治公民館講座(2自治会)、サークル自主講座(1サークル)などを開催。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	各種事業を行うことで村民の生涯学習の場として必要性が高い。	16 総合得点
		133010			効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	講座・教室の時間を対象者に合わせることで講座室の利用を効率的に運用した。	
		生涯学習課			有効性	成果が非常に高い	村民ニーズに対応した講座・教室を開催することで、有効性を高めた。	A 評価
		文化センター係			今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	多様化する村民のニーズに対応できるよう事業運営に努め生涯学習の推進をはかる。	

平成27年度 読谷村教育委員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果				
21	ちむ清らさの人の人づくり	後援団体育成事業 134003	各種団体の活動により優秀スポーツ選手育成や、中頭大会・県民大会等で優秀な成績を収めている。本村におけるスポーツ普及・振興にも重要な役割を果たしている。少年野球読谷支部は、スポーツ指導を通して青少年健全育成に成果を上げながら、スポーツの楽しさを教えている。また各自治会においては、読谷協の各種大会へ参加することで地域活性化にもつながっている。スポーツ振興推進協議会は青少年等の県外大会へ派遣費を助成することで将来のスポーツ選手の育成にもなっている。	・補助団体数 10団体(負担金4団体、補助金6団体) ・読谷村スポーツ振興推進協議会 (1)助成金6件 (2)激励金24件 (3)褒賞金2件 (4)総額1,970,000円	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	青少年の健全育成に成果を上げ、村民のスポーツ普及・振興に重要な役割を果たした。	16
					効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	競技スポーツ及び生涯スポーツの発展に寄与した。	
					有効性	成果が非常に高い	県内において、中頭郡体育大会で、優秀な成績を収めている。また、各種競技において県代表として、九州大会及び全国大会等へ出場を果たしている。	A
					今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	将来の優秀なスポーツ選手の育成の為に継続しながら、資金の確保も重要課題である。	
22	手づくり工芸の振興と発展	陶芸研修所運営事業 151001	陶芸研修所でのヤチマン作りをおこなった郷土学習の場及び伝統工芸の体験とおし生生涯学習の場として活用し、文化村づくりの更なる発展を目指す。	村民の伝統工芸ヤチマンに対する関心の高さはあり、平成26年度は技術指導をする職人が不在であったが、平成27年度は講師を確保し、ヤチマン体験事業を村内3保育所で、開催した。また地域に根ざした学習施設として、今後も推進が期待できる。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	生涯学習施設として十分機能している。文化村づくりに寄与している。	14
					効率性	投入コストに比べ活動量が高い	村民や子どもたちが交流や研修場として利用できる。	
					有効性	成果が高い	保育園児や小学生の体験学習の場として期待できる。	A
					今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	サークルや村民の利用を促進する手法・広報の検討が必要である	
23	ちむ清らさの人の人づくり	歴史民俗教育普及事業 131007	常設展「読谷の歴史と民俗」のほか2つの企画展「沖繩戦終結70年企画展 廃墟からの復興」と「読谷村立歴史民俗資料館開館40周年記念企画展 掘り出された読谷の歴史」を開催した。資料館講座として①「長浜貝塚探検記」②「木綿原遺跡の発見と成果」③「縄形骨製品の謎にせまら」④「大湾アガリヌワガン遺跡から解ったこと」の4つの講座を開催した。また4字(波平・上地・大木・比謝)歴史民俗ガイドマップを製作した。	常設展のほか2つの企画展に15,480名の観覧者があり、読谷村の歴史民俗について知っていただいた。また波平・上地・大木・比謝の4字のガイドマップを製作し、地域の歴史や文化を身近で理解をしていただく環境を整えることができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	資料館には村民からの奉贈資料や村内調査で収集した資料が多くあり、これらを展示公開していく必要がある。	16
					効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	各字歴史民俗ガイドマップ製作にあたっては地域有識者と共に進め、きめ細かい情報整理ができた。	
					有効性	成果が非常に高い	ひとつの字に焦点をあてた歴史民俗ガイドマップ製作したことは地域の歴史や文化を再発見する上で効率が非常に高い。	A
					今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	歴史民俗ガイドマップについては村全字の歴史文化情報をデジタル媒体による発信が望まれる。	
24	ちむ清らさの人の人づくり	美術展示事業 131008	戦後70年企画展の沖繩美術「沖繩戦読谷村三部作・しまくとぅばで語る戦後」他、「秋の美術展・神展会員新作展<美術の部>」、「収展品展<絵画>」、「第35回読谷アンデパンダン展」、「読谷児童生徒作品展」、「2016読谷やちむん展」の6つ展示会を開催した。	開催した6つの企画展を8,458名に観覧していただいた。児童生徒や村民に発表する場や芸術交流の場の提供ができ、作る喜びと自信を与え、生活文化にうるおいを与えることができた。また、美術と芸術を愛する村として伝統工芸の村として村内外にアピールすることができた。	妥当性	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	児童生徒や村民に対し、学校や民間開催が困難な展示会を身近な村立美術館で開催できた。	16
					効率性	投入コストに比べ活動量が非常に高い	激しい財政状況の中でも、展示会の質と量をほぼ保っている。	
					有効性	成果が非常に高い	特に児童生徒作品展・アンデパンダン展で児童生徒らの鑑賞が多かった。	A
					今後の展開	事業規模の拡大が望まれる事業	学校や民間での開催が困難な展示会でも、事業規模の維持・拡大が望まれる。	

平成27年度 読谷村教育員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価
			内容	効果				
25	ちむ清らさの人の人づくり 地域文化の創造発展	美術館教育普及事業 131009 文化振興課 文化振興係	企画展「城間善夫絵画展」・「比嘉武史絵画展」開催時に、美術館長・作家本人による作品解説会を開催。読谷中学校美術部対象に「ガラス工芸体験教室」を開催。その他、平成25年度美術館年報・美術館だより第13号を発行。	作品解説会においては作品に対する理解を深め、美術に関心を持っていただく効果があった。中学生が地域の職人から直に琉球ガラス制作を教わる体験は感動を生み、美を愛し地域を愛する心を養う効果がある。年報・だより発行は、美術館活動への理解を深め、美術館普及・情報サービスに効果がある。	4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	学校のみでは困難な充実した美術教育授業を連携で成し得たことは、関与の妥当性が高い。	16
				4	効果が高い	専門的で、充実した内容ながらも身近な村内作家を講師として実施し、効果性は高い。		
				4	効果が高い	参加生徒や教員からの反応や評価が高く、有効性は非常に高い。	A	
				4	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる		参加した生徒の評価が高く、学校との連携をさらに維持し、事業規模の拡大が望まれる。
26	ちむ清らさの人の人づくり 地域文化の創造発展	返還軍用地埋蔵文化財発掘調査事業 131012 文化振興課 文化振興係	埋蔵文化財の有無や詳細を把握するために、返還軍用地(瀬名波通信施設跡)、大湾アガリヌウガン遺跡、トウマイグシク、長浜貝塚にて確認調査を行う。	瀬名波通信施設跡にて約1026㎡、大湾アガリヌウガン遺跡で2770㎡、トウマイグシクでは54㎡、長浜貝塚では8㎡を発掘し、埋蔵文化財の概要を把握できた。	4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	村民の財産である埋蔵文化財の保護計画は地域づくりと連携して行う必要があり、教育委員会が関与する妥当性が高い。	16
				4	効果が高い	当初予定していた分量以上の業務を完遂できた。		
				4	効果が高い	発掘調査によって確認しづらい埋蔵文化財の区域と概要を把握し、開発との調整資料として具体的に提示でき、成果は非常に高く有効である。	A	
				4	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる		今後は確認された埋蔵文化財を保存・活用する必要がある。
27	ちむ清らさの人の人づくり 地域文化の創造発展	村史編集事務管理事業 131013 文化振興課 村史編集係	平成27年度は、25年度に沖縄戦職員会から寄贈された戦後教育・復帰関連資料の公開に向けたデータベース構築作業を行った。また、「読谷の民俗芸能」の執筆準備、「移民・出稼ぎ編」「言語・地名編」の調査と資料整理、写真資料のデジタル化や寄贈書籍等の登録作業を実施した。	村の歴史的事象を確認しつつ検証することによって、将来を展望し、より良い施策等を打ち出すことができる。また、収集した資料をデジタル化し、データベース化することによって、村史のみならず字誌編集や記念誌発刊事業等においても利活用の幅が広がってきている。	4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	歴史館の展示部門及び研究部門とタイアップして村史を編集することで、より深化した形で村の歴史を掘り下げることができる。	16
				4	効果が高い	これまでの編集過程で多くの資料を蓄積しており、児童生徒や大学等の研究機関、マスコミなどへの情報提供にも協力している。		
				4	効果が高い	村史編集室は、沖縄県地域史協議会にも加盟し、全県的な活動を行っている。同時に各字誌や記念誌への資料提供等でも広く利活用してもらっている。	A	
				4	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる		現在、写真約19万枚及び映像約800本を収集管理している。また、歴史資料としての公文書(役場蔵書文書等)を収集して総合情報センターに向けて準備をしている。
28	ちむ清らさの人の人づくり 地域文化の創造発展	移民出稼ぎ調査編集事業 131018 文化振興課 村史編集係	戦前から戦後にかけて、約4千人を数える村人が県外・国外に出稼ぎ及び移民した歴史的事実を調査して資料収集・整理するとともに、読谷村における移民・出稼ぎの特徴を明らかにし、村史「移民・出稼ぎ編」としてまとめ上げる。	平成29年度に予定している多言語(日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語)小冊子の発行と、それをホームページで公開することによって、海外に広がっている移民者の子孫に先人の歴史を解りやすく伝えて継承を促すとともに、母村に対する愛着と誇りを育み、交流を深めることができる。	4	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	「移民・出稼ぎ」編の編集に取り組んでおり、県外・南洋・南米の体験調査や外交史料館、国会図書館における資料収集を実施してきている。	16
				4	効果が高い	一括交付金事業として取り組んでいるため、調査員の確保やテーマ反訳業務を業者委託できると効率性は高い。		
				4	効果が高い	沖縄は移民県であり、本事業を通して県外や海外の二世三世に読谷の歴史や移民史を広く紹介することができると期待している。	A	
				4	今後の展開	事業規模の拡大が望まれる		ホームページ上に多言語で掲載することで、国内外の県出身者との交流が深まり、村の知名度が向上するとともに観光客の誘致にもつながる。

平成27年度 誼谷村教育委員会事務点検・評価報告一覧

No	施策名	事業名	事業概要		区分	点検・評価		総合評価	
			内容	効果		4	5		
29	ちむ清らさの 人づくり  地域文化の 創造発展	沖繩語(しまくとぅば)で伝承されてきた民話を調査整理し沖繩語に親しめる教材(民話絵本、民話紙芝居DVD)を製作し、村内保育園、幼稚園、小中学校、自治会事務所へ配布した。	日頃沖繩語(しまくとぅば)になじみの薄い児童生徒や村民が民話絵本や民話紙芝居DVDを気軽に用い沖繩語(しまくとぅば)に親しむことができた。	教育委員会が関与する妥当性が非常に高い	地域のことは児童生徒に継承するにあたって教育委員会が関与する妥当性が高い。	妥当性	4	16	
		文化振興課		投入コストに比べ活動量が非常に高い	沖繩語の教材を村内小中学校の各クラスに配付でき、沖繩語に親しむ環境を整えることができた。				効率性
		文化振興係		成果が非常に高い	児童生徒が沖繩語に親しみやすい教材(民話絵本、民話紙芝居DVD)を製作できたことは成果は高い。	有効性	4		
				事業規模の拡大が望まれる事業	豊富な民話を活用し、今後も民話絵本、民話紙芝居DVDの続刊製作が望まれる。			今後の展開	4
30	ちむ清らさの 人づくり  地域文化の 創造発展	世界遺産座喜味城跡活用事業	平成27年10月25日～平成28年1月20日の期間に座喜味城跡城壁のライトアップを実施し、この期間の来場者は10478人であった。	ライトアップ期間中の来場者は10,478人であった。また、平成27年発表のロコサイト「トリップアドバイザー」の「行ってよかった!日本の城ランキング」で座喜味城跡が第18位にランクインした。	教育委員会が関与する妥当性が高い	教育委員会だけではなく観光振興部局の関与を付与する必要がある。	妥当性		
		131035			投入コストに比べ活動量が高い	観光振興部局と連携したイベントを併用できたら、入場者の満足度が上がると考えられる。		効率性	3
		文化振興課			成果が高い	ロコサイトの結果のとおり来場者に座喜味城跡の城壁の美しさと先人築城技術の高さを知っていただけた。	有効性		
		文化振興係			事業規模の維持が望まれる事業	27年度をもって事業を終了したが、今後の展開については観光振興部局と調整していく必要がある。		今後の展開	3